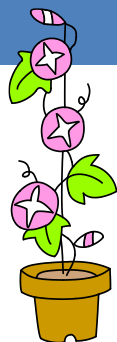


水通信



2021.8.27 第181号

「水通信」は、水資源機構（主に中部管内）における取組に関する情報を、中部管内の関係者（県、市町村、土地改良区その他関係機関）の皆様方に、直接配信させていただいております。

※目次の事業所名等をクリックすると、その事業所等の記事に移動します。

各事業所名をクリックすると目次に戻ります

目 次

☆ **【[巻頭言](#)】**

- 中部支社総務部長 杉田康司

☆ **【[中部管内水源情報](#)】**

☆ [インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』](#)

☆ **《新着情報》**

[中部支社](#)

- 令和3年度優良工事等の表彰を行いました

豊川用水

- 排水ポンプ車操作訓練を実施しました
- 豊岡工区が到達しました
- 今年も開催！出前授業特別編 ～三ツ口池～
- 豊川用水上下流交流事業を実施しました
- 「熱中症とその予防対策」講演会を開催しました

木曾川水系連絡導水路

- 沿線の紹介～さざれ石公園（君が代発祥の地）

愛知用水

- 若手職員による応急対策訓練（土のう積み作業）を実施しました
- 「間伐材を使ってコースターを作る教室」を開催しました

木曾川用水

- 長坂康正内閣府副大臣・経済産業副大臣が木曾川大堰を視察されました

岩屋ダム

- 岩屋ダム見学会を行いました
- 環境体験学習会を開催しました
- “謎の穴あき岩”を発見！！

阿木川ダム

- 空心菜（くうしんさい）の水耕栽培について

徳山ダム

- 船舶運転等の講習会を開催しました

長良川河口堰

- 船舶揚陸実働訓練を実施しました

味噌川ダム

- エレベータ救出訓練を行いました
- 「サマーとりっぷ in 木祖村」が開催されました

三重用水

- 中里ダム「離郷の碑」の清掃活動を実施しました
- 菰野調整池直下流赤川の清掃活動を実施しました
- 三重用水を紹介する番組（地元ケーブルテレビ局）が放映されます
- 近鉄主催「鉄道ロゲイニング in 菰野町」で三重用水をPRしました！

☆ 【イベントカレンダー】

- 令和3年9月～10月

☆ 【編集後記】

- 担当課 中部支社事業部ダム事業課

巻頭言

【中部支社総務部長 杉田 康司】

中部支社総務部長の杉田と申します。4月から3回目の中部管内勤務として赴任しております。改めてよろしくお願いいたします。

木曾三川地域の気象状況ですが、今年は例年より早い梅雨入りとなり、台風や前線の影響により不安定な気象状況となる日が多く、雷雨に見舞われた場所も有りました。特に8月中旬の前線停滞による降雨は記録的なものとなり、各地で災害が発生しました。被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。今後も継続して気象状況を注視して参ります。

赴任当初、出社の途中、間近の名古屋城を見上げたときに、なにか物足りない違和感を感じたものでした。ご存じのように、名古屋城のシンボルで有る金シャチの「降臨」が行われていたためです。現在の金シャチが地上に降りるのは今回で3回目、先代を含め県外での展示（金シャチにとって外遊？）は約150年ぶりとのこと。今回の外遊では、名古屋城に縁の深い地域を巡る「中津川・木曾特別巡回」も実施されたようです。木曾川上流の景色は、金シャチの目にはどのように映ったのでしょうか。金シャチは昔から自然災害や疫病などの災厄を避ける役目があると聞きます。是非、コロナ退散や災害回避、また復興に繋がることを祈念したいと思います。現在、金シャチは約4ヶ月にわたる外遊を終え、天守に戻り、広い視野で私たちを見守ってくれています。

さて、今年は、木曾川から知多半島に水を運んでいる「愛知用水」が、通水開始から60年目となります。改めて、愛知用水はじめ各施設の計画段階で奔走された先人や、事業にご理解・ご協力をいただいた皆様、また、建設に携わった方々に敬意と感謝の意を表したいと思います。今後も職員一同、着実な管理に向け、取り組んで参ります。引き続きよろしくお願いいたします。



■金シャチが外遊を終え、天守閣に戻った。まずオス（写真上）が戻り、続いてメスが戻る（写真右）

中部管内水源情報

【中部管内水源情報】

中部管内の各ダムにおける8月26日現在の降雨及び利水貯水率については、下表のとおりとなっています。

木曽川水系の4ダム（牧尾・岩屋・阿木川・味噌川ダム）の8月降雨量は平年を上回る状況（平年比230%～411%）となっており、4ダム合計の貯水率は97%（平年比118%）と、平年を上回る貯水状況となっています。

豊川水系の宇連ダム及び大島ダムの8月降雨量は、平年を上回る状況（平年比341%～344%）となっており、豊川用水全体（宇連・大島ダム、各調整池）の貯水率は97%（平年比129%）と平年を上回る貯水状況となっています。

今後も水需要が多い時期が続きます。引き続き、気象、貯水状況に注視していきます。

中部管内各ダムにおける8月の降雨及び利水貯水率（8月26日現在） 単位：（%）

	牧尾ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	岩屋ダム	宇連ダム	大島ダム	中里ダム	徳山ダム
降雨の平年比	337	324	411	230	341	344	232	191
利水貯水率 （平年比）	91.9 (141.0)	100 (110.1)	100 (102.9)	100 (111.0)	96.8 (143.4)	100 (110.0)	90.6 (140.1)	100 (100.2)

- 中部支社管内の各ダム貯水状況等は中部支社HP内の「水源情報」でご覧いただけます。
中部支社HP <https://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>

「水源情報コーナー」

◆リアルタイム情報

<https://www.water.go.jp/mizu/chubu/realtime/index.html>

◆中部管内の水源状況（平日更新）

<https://www.water.go.jp/mizu/chubu/report/>

◆ダム貯水状況グラフ、節水情報など

<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessuijyouhou03-1.html>

インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』

中部支社メールマガジン水通信では、令和3年より新たなコミュニケーションツールとして、水資源開発施設の建設・管理に携わる「人」に焦点を当て、それぞれのスペシャリストにインタビューを行う『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』を掲載しています。

今回は、徳山ダム管理所にて管理業務に従事している職員に、ダム管理の重要性や苦勞などについてお話を伺いました。



(写真：徳山ダムを背景にインタビューに答える吉田さん)

<Profile>

吉田 直弘 Naohiro Yoshida

徳山ダム管理所 管理課

平成8年 水資源開発公団 採用

旧吉野川河口堰管理所へ配属

(徳山ダム建設所、長良川河口堰管理所等にて勤務)

平成31年 国土交通省 中部地方整備局へ出向

令和3年 独立行政法人水資源機構に復帰、

徳山ダム管理所へ異動

現在に至る

吉田さんは平成8年4月に水資源開発公団に採用され、現在は徳山ダム管理所にてダム管理に携わっておられますが、これまでどのような業務を経験されてきたのですか。

—— 新規採用で徳島県の旧吉野川河口堰管理所に配属され、そこから中部、関東、関西の各地域でダム等の建設・改築や管理に携わってきました。建設と管理では、管理の方が経験年数は長いですね。

吉田さんの経歴からすると、まさに「ダム職人」ですね。

その後、平成31年に国土交通省中部地方整備局へ出向され、新たな人間関係や仕事のやり方などで苦勞されたかと思います。どのような業務に携わられ、またその中で得られたものについて教えてください。

—— 出向1年目は、中部地方におけるリスク管理型の水の安定供給のあり方について取りまとめを行うため、関係利水者や施設管理者の皆様と調整し、基礎資料の収集整理等を行いました。ダムから河川、取水口に留まらず、水道事業者による末端までの水供給、さらには下水処理がうまく機能しないと水道供給に影響が及ぶ可能性や、気候変動により将来の降雨傾向が変化する可能性など、考えられるリスクを浮き彫りにする作業では、己の見識不足を痛感しました。

2年目は、水利使用に関する技術審査と水文観測（河川水位、流量、雨量）に関する業務に携わり、水利権に関しては許可権者側がどのような視点で審査しているのか得難い経験だったと思います。また、国交省では新技術を用いた水位観測、流量観測を検討しており、機器メーカーと共に技術開発の検討にも携わることができ、技術者冥利に尽きる思いでした。

これらの他に印象的だった業務は、令和2年7月豪雨で被災した球磨川流域の熊本県五木村にテックフォースの一員として派遣された災害対応です。2週間にわたり被災状況調査等を行いました。派遣期間中再度激しい降雨に見舞われ、隊員も道路への土砂流出で基地への帰路を塞がれ危うく救助対象となりかけるなど、とても緊張感のある現場でした。現地では、国の職員が早々に応援に来てくれたということで村長以下被災地の方々の期待が非常に大きく、「中部地方整備局」と大きくロゴの入った隊服を着用すると、身の引き締まる思いでした。

テックフォースでの経験は、出向された吉田さんならではの貴重な経験だったのではないかと思います。多くの現場で様々な経験をされてきたかと思いますが、吉田さんの25年にわたる業務経験のうち、最も大変だったこととそのエピソードを教えてください。

—— 思い起こすと色々ありますが、最も大変だったのは、埼玉県にある武蔵水路の改築事業において、国道交差部分の設計及び施工計画の策定を担当した時でしょうか。事業工期の関係で施工可能な期間が切迫する中、必要な利水を流し続けるために半分に締め切った水路間での水の切り替え、国道施設や周辺に設けられた第三者施設、埋設物・架空線や交差点における人流・交通への影響回避など、工事を行う際に考えられるあらゆる制約がすべて盛り込まれ、設計や施工計画を考える上で大変頭を悩ませました。しかしながら、上司や同僚、受注者・関係者の方々と議論を重ね、関係機関の皆様の協力もあって無事に軌道に乗せることができ、その後工事を担当して頂いた皆さんには感謝の一言しかありません。

武蔵水路の改築は、水路を半分に仕切った上で、水を流しながら水路の2連化・耐震化を進めるという難事業であり、市街地での工事であるため事業を行う上での制約が非常に大きく、お話を伺うだけで当時の大変さが伝わってきます。

それでは、吉田さんの現在の業務について教えてください。現在、吉田さんは徳山ダムにおいてダム運用の計画作成や貯水池の維持管理等に携わられているとのことですが、具体的にはどのようなことをされているのですか。

—— 現在の揖斐川流域の流況を把握し、今後の雨による増水、逆に雨無しで減水する可能性について予測から情報を得て、増水の場合は安全に水を流下させるための操作、減水の場合は河川に必要な流水を確保するための操作、両方を満足するようにダムを運用するための準備をしています。なお、ダム操作では、下流の河川環境等への配慮も欠かせません。

また、それらの操作が確実に実行できるよう、施設を万全の状況に保つため、施設のメンテナンス工事等を計画、発注する作業を行っています。

日頃の業務を通じて来るべき洪水時に備えておられるのですね。昨年度から事前放流の取組みが始まりましたが、初めての試みであったため、ダム運用においては日々苦勞が絶えなかったのではないかと思います。振り返ってみてどのようなところが大変だったと思われますか。

—— 事前放流は予測される雨量が判断基準となる雨量を超える場合に、まずは必要性の有無を検討する動きとなりますが、着任してから基準雨量を超える予測があったのは1回だけです。徳山ダムの場合、全国で最も貯水池の容量が大きく、事前放流が必要となる予測についてはなかなか発生し難いですが、事前放流の効果は大きく、必要が生じた際に確実に実施して効果を発揮できるよう手順等の整備に力を入れています。特に実働時に何が起こるのかという想像力を働かせる部分については、引き続き関係者間で詰めていく必要があると感じています。

昨今、気象変動による雨の降り方が変わり、ダム管理の手法についても色々と報道され注目が集まっていますが、ダム管理において、どのような点に気を配っているか教えてください。

—— 洪水の場合、降った雨から実際に川に出てくる水量を予測する「流出予測」が重要なツールです。近年はIT技術の向上もあり、より精緻な計算が可能となったので流出予測も高度化しましたが、予測時の入力値となる降雨予測の振れ幅は大きく、ひとたび線状降水帯が停滞する状況となれば、これまでの流出予測値に対応するダム操作とは方針を変更せざるを得ない事態が想定されます。そのため、ダム管理者は、ひとつの予測値に囚われず、起こりうるリスクを念頭に操作に当たっています。

また、防災情報の発信においては、受信された自治体等の皆様に正確に状況をご理解頂き、必要な防災行動に結びつくよう、日頃からの説明、周知が重要と考えています。気候変動の影響として、洪水以外にも、一度にたくさん降って、降らない期間が長くなることも想定されるので、渇水についても意識を高く持っており、無駄な水を流さないことにも気を配っています。

地域の人々の生命・財産を守る上で大変な業務を工夫しながら進められているのですね。慣れない業務や多忙な職場でストレスもあるかと思いますが、ストレス解消のためにしていることがあれば教えてください。

—— ストレス解消は、休日のテニスです。地元のクラブに参加し、真夏は炎天下、真冬は雪の中でもコートを除雪して活動するため、妻や子供は呆れ顔ですが、運動後のお酒は格別なのでやめられません。思えばお酒の方が主役なのかもしれませんね。

最後になりますが、今後どのような職員として活躍したいと考えていますか。また、これまで培ってきた経験を今後どのように役立てたいと考えられていますか。

—— 昔より少ない人数でたくさんのタスクを熟す必要がありますが、大変な一面もありますが、やり甲斐の大きな仕事であると思っています。今後も自分自身が確実に業務を遂行することはもちろん、後輩や、これから入社される方々にも充実感の得られる仕事をしてもらえるよう、これまでの経験から効率化について考えながら、協調したり、時には指導できるような職員になればと思います。そのためにも、まずは自らが健康第一でいられるよう、心と体のケアを心掛けたいです。

インタビュー当日、徳山ダム管理所にて吉田さんにお話を伺う中で、技術的な難しい内容についても非常に分かりやすく説明されておられ、非常に感銘を受けました。ダムや用水路に詳しくない方々への説明をいかに分かりやすく行い、相手方に理解してもらうということについて、吉田さんは日頃から来訪者の対応や防災業務を含むダム管理に携わられ、分かりやすい説明を心がけておられるからこそその成果であると感じた次第です。

今後、吉田さんは部下や後輩にこれまでの経験を伝え、将来を担う人材を育成していく立場になられるものと思われませんが、これまでの数多のダム事業で培った経験を武器に、今後のさらなるご活躍を期待しております。

水資源機構中部支社では、水の安定供給を支える「人」に焦点を当てたインタビューコーナーを今後も特集として掲載していきます。インタビューに応えていただける方を募集しておりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。



ことわざブレイク

【 夏歌うものは冬泣く 】

・働ける時に働いておかないと、あとで暮らしに困るというたとえ。夏に歌など歌って遊び暮らしている者は、冬になって蓄えがなく飢えや寒さに泣く羽目になるという意から。

《新着情報》

中部支社

○ 令和3年度優良工事等の表彰を行いました

7月19日（月）、中部支社において、令和3年度中部支社優良工事等表彰式を執り行いました。

本表彰制度は、水資源機構発注の工事等を受注し、その成果及び工事等の取り組み姿勢が特に優秀で他の模範となる工事等を選定し、受注者を表彰することによって、技術力の向上を図り円滑な事業推進を期待するものです。

表彰内容は、令和2年度に完成した工事等から、優良工事表彰及び優秀工事技術者表彰、優良業務表彰及び優秀技術者表彰、さらに中部支社安全協議会会長表彰として、令和2年度に無災害で工事を実施あるいは竣工した工事で労働安全衛生への取り組みが優秀である工事を表彰する安全管理優良工事表彰となっています。

今回は中部支社長表彰として優良工事2件、優秀工事技術者2名、優良業務5件、優秀技術者5名。また、中部支社安全協議会会長表彰として安全管理優良工事2件の表彰を行いました。



【優良工事表彰（支社長表彰）】

豊川用水二期西部幹線併設水路相楽工区工事 株式会社フジタ 名古屋支店
阿木川ダム常用洪水吐設備開閉装置整備工事 株式会社シーテック

【優秀工事技術者表彰（支社長表彰）】

調節ゲート1号外操作制御設備整備工事 佐藤鉄工株式会社 三品 孝
阿木川ダム常用洪水吐設備開閉装置整備工事 株式会社シーテック 武田 恭一

【優良業務表彰（支社長表彰）】

岩屋ダム河川水辺の国勢調査業務（鳥類調査） 株式会社KANSOテクノス
牧尾ダム堆砂測量等業務 株式会社マドック
阿木川ダム水質調査等業務 株式会社環境科学研究所
岩屋ダム定期報告書作成業務 東京コンサルタンツ株式会社富山支店
豊川用水二期東部幹線併設水路伊川津工区補足設計等業務 若鈴コンサルタンツ株式会社

【優秀技術者表彰（支社長表彰）】

岩屋ダム定期報告書作成業務 東京コンサルタンツ株式会社富山支店 山岸 義康
豊川用水二期東部幹線併設水路伊川津工区補足設計等業務 若鈴コンサルタンツ株式会社

【安全管理優良工事表彰（支社安全協議会会長表彰）】

豊川用水二期西部幹線併設水路相楽工区工事 株式会社フジタ名古屋支店

豊川用水二期西部幹線併設水路駒場池工区工事 東急建設株式会社名古屋支店

また、各事業所においても優良工事表彰を行っていますので、以下のリンクをご覧ください。

豊川用水

<https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/topics/210730yuuryoukouji.pdf>

愛知用水

[https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/e\(tayori\)/00\(top\)/02\(rireki_event\)/20210727yuryoukouzihyoushou.pdf](https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/e(tayori)/00(top)/02(rireki_event)/20210727yuryoukouzihyoushou.pdf)

木曽川用水

<https://www.water.go.jp/chubu/kisogawa/hyosyo/pdf/R3hyosyo.pdf>

岩屋ダム

https://www.water.go.jp/chubu/iwaya/file/new_info/20210727_R3yuuryoukoujitouhyousyou.pdf

阿木川ダム

https://www.water.go.jp/chubu/agigawa/ibent/pdf/20210728_yuuryou.pdf

徳山ダム

https://www.water.go.jp/chubu/tokuyama/news/pdf/210729_hyousyou.pdf

長良川河口堰

https://www.water.go.jp/chubu/nagara/04_shinchaku/r3/yuryokojihyosyo_20210716.pdf

味噌川ダム

https://www.water.go.jp/chubu/misogawa/999oshirase/2021/0721_hyosyo.pdf

三重用水

https://www.water.go.jp/chubu/mieyosui/keiji_ban/210730-2%20R3mieyosui-yuryoukoujihyousyou%20.pdf



豊川用水総合事業部

○ 排水ポンプ車操作訓練を実施しました

6月24日（木）、万場調整地にて排水ポンプ車操作訓練を実施しました。

当日は、機構職員17名が参加し、排水ホースの伸展と収縮方法、排水ポンプとフロートとの接続方法、排水ポンプ運転方法などの訓練を行いました。

いつ災害が起きるかわかりませんが、いつでも使用できる体制を継続して保持することが重要です。今後も定期的に訓練を行い、災害時等での速やかな対応に努めてまいります。



■万場調整地にて排水訓練中

○ 豊岡工区が到達しました

7月2日（金）、豊川用水二期西部幹線併設水路豊岡工区工事が、無事到達しました。本工区はシールド工法にて2018年11月より掘進を開始し、途中、硬い地質などに悩まされながらも、無事、約3年をかけて3.0kmを掘進することができました。今後は、水路の形に成形する作業（二次覆工）などを行います。



■現場納入時のシールドマシン



■到達後のシールドマシン

○ 今年も開催！出前授業特別編 ～三ツ口池～

7月5日（月）、出前授業を三ツ口池にて開催しました。三ツ口池の近くには、石巻小学校があり、毎年出前授業で三ツ口池について説明して欲しいとのオーダーを受けています。今年も三ツ口池でぜひ説明を、との要望を受けての開催です。

今回の出前授業では、わかりやすい説明をめざし、新たなパネルも作成しました。説明を終えると、子供たちからは、「ワニがいるって本当ですか。」「水を取るときにごみ等で、詰まったりしないんですか。」という質問がありました。途中メモを取ったり、とても熱心に学んでおり、説明しているこちら側もその姿に感心です。とても蒸し暑い中でしたが、実際の三ツ口池を見て、聞いて、よい学習になったのではないのでしょうか。



■三ツ口池で授業の様子

○ 豊川用水上下流交流事業を実施しました

7月6日（火）、豊川総合用水土地改良区と合同で豊川用水上下流事業を実施しました。今回の豊川用水上下流交流事業では、鳳来寺小学校の4年生11名が大野頭首工を施設見学を訪れ、豊川用水の役割や水の使われ方などについて説明を行いました。小学生たちは熱



■施設見学の様子

心に説明を聞き、メモをとっていました。実際に頭首工を見学する際には、魚の姿に喜んだり、頭首工にたまっていたゴミを見てゴミの量が多いことに驚いたりしていました。また、クイズを実施するなど楽しく豊川用水について学んでいただきました。

今回の施設見学を通じて、水の大切さなどを学んでいただき、小学生にとって有意義な見学になったのではないかと思います。

○ 「熱中症とその予防対策」講演会を開催しました

7月14日（水）、外部講師を招いて、「熱中症とその予防対策」と題して講演会を開催しました。講演会は、各支所等にもWEB配信を行い、71名が受講しました。

熱中症は、予防法を知って、それを実践することで防ぐことができること、応急処置を知っていれば重症化を回避できることを学ぶことができました。

この夏は、WBGT値（暑さ指数）の危険（31℃以上）と予報されている日が長期にわたるようです。快適な職場環境で熱中症を防ぎましょう。

木曾川水系連絡導水路建設所

○ 沿線の紹介～さざれ石公園（君が代発祥の地）

岐阜県揖斐郡揖斐川町春日に「さざれ石公園」があります。国家「君が代」に詠まれているさざれ石はこの地にあり、学名を石灰質角礫岩と言います。これは石灰岩が千年も、さらにいく千年も（千代に八千代に）雨水で溶解され、そのとき生じた粘着力の強い乳状液（鍾乳石と同質）が次第に小石を凝固して、だんだん巨石（いわお）となり、河川の浸食作用により地表に露出し、苔むしたものです。※昭和52年岐阜県天然記念物指定

公園内には2つの巨大なさざれ石と「君が代発祥の地」と刻まれた記念碑が建っています。



■ 2つのさざれ石と記念碑

愛知用水総合管理所

○ 若手職員による応急対策訓練（土のう積み作業）を実施しました

愛知用水では訓練日常化の取組として、職種を問わず土のう積み作業未経験な若手職員に、仕拵え～積立の一連の作業を体験する訓練を7月9日（金）に実施しました。

手作業による土のう仕拵え、空洞箇所穴埋め（幹線水路吉川チェック）を、経験者の指導により参加者自身で全て実施しました。最初は、スコップで土砂を掘るのも一苦労といった感じでしたが、すぐに要領を覚えスムーズな作業が出来るようになっていきました。

愛知用水では、地震等災害時における応急対策実施が円滑に進むよう、今後も職種にこだわらない非常時対応スキルを向上させる取組を進めていきます。



■仕拵（しごしら）え作業



■穴埋め作業

○ 「間伐材を使ってコースターを作る教室」を開催しました

7月28日（水）に、尾三衛生組合がリサイクルをテーマとした取組期間として開催された各種教室において、愛知用水総合管理所からは、「間伐材を使ったコースターを作る教室」を開催し、小学生等の親子15名の参加がありました。

愛知用水の役割やどんな仕事をしているかなどを最初に紹介し、併せて愛知用水が今年9月30日で通水を開始してから60周年を迎えることに触れ、絵画コンクールとフォトコンクールへの出展についてもお願いをするなど、参加者の理解を深めるとともに、緊張を和らげてから教室をはじめました。

このコースター教室では、愛知用水の水源地である牧尾ダム周辺で回収した間伐材を参加者にノコギリで切断してもらい、紙やすりで磨いてもらった後、これらをコースターや金具とリボンを付けてメダルにするなど、個性あふれる作品づくりを楽しんでいただきました。

普段慣れない体験で、上手く間伐材が切れず苦戦する子も多くいましたが、慣れてくると徐々に笑顔で作品づくりに集中していました。

参加者にとって有意義なイベントにできるか最初は心配をしていましたが、親子揃って楽しみながら「モノ作り」をするという貴重な時間を提供することができ、大変嬉しく感じました。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響から、イベントの開催が殆ど中止となっていますが、今回の取り組みを通じて、引き続き感染対策を徹底しながら工夫をし、少しでも地域の方々との交流を図っていききたいと感じました。



■磨き作業の様子



■間伐材切断の様子

木曾川用水総合管理所

○ 長坂康正内閣府副大臣・経済産業副大臣が木曾川大堰を視察されました

7月21日（水）長坂康正内閣府副大臣・経済産業副大臣が愛知県議会議員1名・一宮市議会議員4名とともに木曾川用水総合管理所を訪れ、木曾川用水の概要説明後、大堰操作室、木曾川大堰及び海部幹線水路を視察されました。

長坂副大臣より、木曾川大堰は地域において重要な施設であり、環境対策も含めて関係機関と連携して進めていただきたい等との意見を頂きました。



■概要説明



■大堰・幹線水路視察

岩屋ダム管理所

○ 岩屋ダム見学会を行いました

7月12日(月)、金山小学校4年生45名が岩屋ダムに見学にやってきました。この見学会は、岩屋ダムのことをもっとよく知ってもらうために毎年開催しているものです。

まず始めに、ダムの概要説明を行い、次にゲート室やダムの堤体等の施設を見学し、実際にダムの大きさなどを体感してもらいました。子供たちは職員に積極的に質問をするなど、ダムの役割等を意欲的にしっかりと学んでいました。



■ ゲート室見学

○ 環境体験学習会を開催しました

8月3日(火)、馬瀬川下流漁業協同組合と協働で、金山小学校の4年生を対象とした「環境体験学習会」を開催し、7名が参加しました。この学習会は、馬瀬川や水生生物についての説明と、水生生物の採集やアマゴの放流体験を通して、地域の自然環境や川への関心を高めてもらうためのものです。

馬瀬川に生息する水生生物の採集では、みんな楽しそうに生き物に触れあっていました。児童は採集した水生生物から、馬瀬川がきれいな川であることを知り、水を大切に使い、自然を汚さないことの大切さを理解してくれたと思います。アマゴの放流も珍しい体験として、楽しんでくれました。



■ 水生生物の採集

○ “謎の穴あき岩”を発見！！

ダムの堤体の上に、2列に並べられているたくさんの岩。その岩は、堤頂道路と堤体の立ち入り禁止区域との境を鎖でつないでいますが、なんと全部で241個ある岩のうち、1個だけ穴が貫通している岩があるのを発見！

その穴の中に見えるのは・・・

詳細はこちら https://www.water.go.jp/chubu/iwaya/file/new_info/pocketholerock.pdf



■堤頂道路に並んでいる岩



■穴が貫通している岩



ことわざブレイク

【心頭滅却すれば火もまた涼し】

・どんな困難でも、精神の持ち方次第で乗り越えられるということ。

阿木川ダム管理所

○ 空心菜（くうしんさい）の水耕栽培について

阿木川ダムでは、水質浄化の取り組みの一環として、ダム湖面上に設置した栽培スペースにて空心菜の水耕栽培を実施しております。この取り組みは、県立恵那農業高校、恵那市、地元住民のみなさまと阿木川ダム管理所の協働で実施している水質浄化実験で、今年で18年目になります。

空心菜は、東南アジア原産のヒルガオ科サツマイモ属の野菜で、生育の際に水中のリンや窒素といった栄養塩類を吸収することから、水質浄化の効果が期待されています。

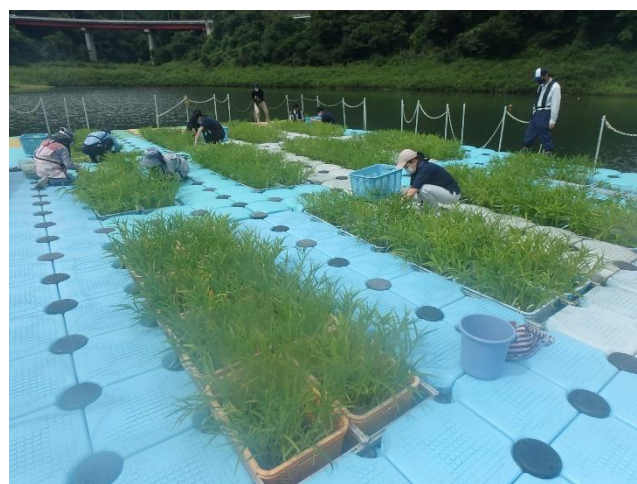
苗定植作業に先立ち、6月17日（木）に当管理所職員で栽培スペースのフロート交換を行いました。（写真左下）その後、6月23日（水）に定植作業を上記関係機関と協働で行い、1回目の刈り取り作業を8月6日（金）に行いました。（写真右下）空心菜は生育が早く、複数回の刈り取りが行える特徴があり、年内にあと2度ほどの刈り取りを予定しています。

収穫した空心菜は、恵那農業高校にてお茶への加工、堆肥化を行うほか、地元の道の駅にて販売し、地域で流通させ特産化を図ることによる地域活性化に向けた取組も行っています。

地域連携を図りながら同時に水源地域の環境保全に寄与する本活動は高い評価を受けており、栽培実験を主導する恵那農業高校が、国土交通省から一昨年「令和元年度水資源功績者表彰」を受賞しています。



■フロート交換作業



■刈り取り作業

徳山ダム管理所

○ 船舶運転等の講習会を開催しました

徳山ダム上流域は豊かな山林が広がっています。この自然豊かな山林を保全するためダム建設に伴う付替道路は山林の姿をなるべくそのままに残してそこに生息する動植物への影響を軽減するため、トンネルや橋梁が多い道路となっています。このためダムの管理においては船舶が頻繁に使用されています。毎年開催している船舶講習会を7月16日（金）と21日（水）に19名が参加して実施し船舶の取扱方法、航行範囲における危険箇所の周知、係留方法（ロープワーク）の確認を行いました。

今後も安全を第一としてダム管理に努めて参ります。



■ 船舶運転等についてさまざまな講習を受ける職員たち

長良川河口堰管理所

○ 船舶揚陸実働訓練を実施しました

長良川河口堰では、水上作業を行うための小型船舶は、通常、河川内に設置されている船着場に常時係留していますが、台風の接近時等には強風や高潮から船舶を守るため、陸上に引き上げて一時避難させる必要があります。

このため、船舶の揚陸作業の技術の維持向上を目的として、作業手順等の確認訓練を例年実施しています。

今年も、梅雨の晴れ間を縫って6月17日（木）に開催し、小型船舶の引き上げ、運搬、固定までの確認を行いました。



■ 船舶の陸上引き上げ



■ 船舶の固定

味噌川ダム管理所

○ エレベータ救出訓練を行いました

7月16日（金）及び7月21日（水）に味噌川ダムでは、エレベータの閉じ込めを想定した救出作業訓練を行いました。通常、エレベータが停止し、中に閉じ込められた人がいる場合、管理会社に連絡し救助を待つのが賢明ですが、万が一閉じ込められた人を従事者のみで迅速に救出しなければならなくなった場合の救出作業を教わりました。訓練に参加した管理所従事者一人一人が手順を確認し、実際の事故対応に備えることができました。



■エレベータの扉を開けて救出する訓練



■救出訓練の説明をうける職員

○ 「サマーとりっぷ in 木祖村」が開催されました

7月28日（水）から29日（木）までの1泊2日で、名古屋市の子供たちが水道水の水源の1つである木祖村を訪れ、水を育む森林の大切さなどを学ぶことを目的として交流する「サマーとりっぷ in 木祖村」が開催されました。

今年は、コロナ禍の影響もある中で万全の対策をして、魚のつかみどり体験や、味噌川ダム防災資料館及びダム監査廊見学など様々な体験をしました。

このイベントをとおして上下流の交流を深めたのはもちろんのこと、水や森の大切さを改めて知る2日間になったと思います。



■概要説明の様子



■ダム監査廊で説明を受ける子供たち

三重用水管理所

○ 中里ダム「離郷の碑」の清掃活動を実施しました

三重用水管理所は、7月4日（日）に、旧深尾地区のみなさまと一緒に、利水者の三重県企業庁、三重用水土地改良区にも参加いただき、中里ダム「離郷の碑」の清掃活動を行いました。

三重用水事業のために移転された28戸のご協力により、中里ダムは昭和47年3月に着工し昭和52年3月に完成しました。この離郷の碑は、まさに故郷を離れる思いを「移転の犠牲によって満々とダムにたたえられた精冽な水が、願わくば世の多くの人たちを潤す水とならんことを。さらばふるさと。」と刻まれています。

三重用水に勤務する職員一同、いつまでも感謝の気持ちを忘れずに日々の管理に努めていきたいと思っております。



■ 清掃活動開始前のあいさつ



■ 清掃後の「離郷の碑」

○ 菰野調整池直下流赤川の清掃活動を実施しました

三重用水管理所は、7月13日（火）に菰野調整池（きらら湖）直下流の赤川沿いの清掃除草作業を実施しました。

赤川において、環境保全など地域活動を行っている「マこもの里自然に親しむ会」と協働で実施しているものです。

三重用水管理所では、5月20日（木）から6月30日（水）に実施しているホタル観察会に参加しました。今年も赤川では、多くのホタルの飛翔が確認されました。



■ 清掃活動の様子

これからも水辺の生物たちが赤川で元気に生活出来るよう、定期的に赤川の清掃活動に取り組んでいきます。

○ 三重用水を紹介する番組（地元ケーブルテレビ局）が放映されます

三重県北勢地区を放送圏としている地元ケーブルテレビ局のCTY（四日市市）・CNS（鈴鹿市）が毎月放送している歴史番組で、今年9月期放送分として「鈴鹿山系の溪流を集めて 北勢に水を運ぶ三重用水」と題した14分間の番組制作企画への協力依頼がありました。8月5日（木）に司会・ナレーターのタレントさんやカメラマンさんと一緒に牧田川取水工、打上調整池、中里貯水池など三重用水施設をまわり、管理所職員へのインタビュー等撮影が行われました。

今回の番組については、9月16日（木）から末日までの間、CTY・CNSさんにて1日2回から3回放映され、放送終了後はインターネットでも公開されます。

（放送終了後のインターネット公開アドレス）

<https://www.cty-net.ne.jp/community/channel/mahoroba/m2021>



■ 管理所職員へのインタビュー撮影(三重用水管理所)



■ タレントさんによる紹介撮影(打上調整池)

○ 近鉄主催「鉄道ロゲイニング in 菰野町」で三重用水をPRしました！

8月7日（土）に近畿日本鉄道さんの主催する屋外イベントである「鉄道ロゲイニング in 菰野町」が開催されました。その中で参加者の方が訪れることのできるチェックポイントの一つとして三重用水施設である菰野調整池（きらら湖）が選定されました。

このイベントは、近鉄四日市駅と湯の山温泉駅を結ぶ近鉄湯の山線の利用促進や同線・菰野町沿線地域の活性化を目的として催されたものです。（菰野調整池・三重用水管理所は、近鉄湯の山線の大羽根園（おおばねえん）駅が最寄り駅になります。）

三重用水管理所では、近鉄さん作成の参加者配布チラシの中で菰野調整池の役割やダムカード（菰野調整池）・水の恵みカード（三重用水）を記載・紹介いただくことにより、三重用水のPRを行いました。

今後もこうしたイベントへ積極的に協力し、三重用水を広く知っていただくよう努めていきたいと考えています。

※鉄道ロゲイニング

地図を使い、チェックポイントを制限時間内に訪ね、点数を集めるゲーム。鉄道、バス、ロープウェイを利用することで、誰もが気軽に参加することが可能。

※ロゲイニング

地図やコンパスを使って、山野に多数設置されたチェックポイントをできるだけ多く制限時間内にまわり、得られた点数を競う野外スポーツ。



■ 参加を募集した案内ポスター

イベントカレンダー

中部管内関連のイベントカレンダー 【令和3年9月～10月】

新型コロナウイルス感染拡大防止により、各イベントについては自粛しております。

編集後記

【担当課：中部支社事業部ダム事業課】

8月は、各地で豪雨が続き、雨による災害が発生しています。被害に遭われた地域の方々に対しましては、心よりお見舞い申し上げます。

今年は、8月30日（月）から9月5日（日）まで防災週間となっており、学校や職場などの防災訓練に参加される方が多いかと思えます。防災週間の時期をきっかけに、ご家族でお住まいの防災マップやハザードマップを確認や準備されてはいかがでしょうか？

お住まいの場所にもよりますが、豪雨、津波、火山噴火など、災害の種類によって避難場所が異なる場合があります。さらに災害によっては危険な場所が違ってきますが、防災マップやハザードマップには、それらの情報がとりまとめられています。

防災マップやハザードマップは、自治体から配布されている場合もありますが、お手元になければ、自治体のホームページから入手できますので、一度お調べになられて下さい。



今月の水通信はいかがでしたでしょうか。

「水通信」に対して、ご要望、ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。

[mailto: chubu_water@water.go.jp](mailto:chubu_water@water.go.jp)

*** 『第182号は、10月下旬に発行する予定です。』 ***
バックナンバーをご覧になりたい方はこちら

<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/mizutsuushin/mizutsuushin.html>



☆中部管内事業所のホームページアドレスは、以下のとおりです

中部支社：	https://www.water.go.jp/chubu/chubu/
豊川用水総合事業部：	https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/
木曽川水系連絡導水路建設所：	https://www.water.go.jp/chubu/kisodo/
愛知用水総合管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/
木曽川用水総合管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/kisogawa/
岩屋ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/iwaya/
阿木川ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/agigawa/
徳山ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/tokuyama/
長良川河口堰管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/nagara/
味噌川ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/misogawa/
三重用水管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/mieyosui/

発行者：水資源機構中部支社